

日本歯周病学会第7回九州地区臨床研修会終了報告

東 克章

平成28年1月31日、熊本で第7回日本歯周病学会九州地区臨床研修会を熊本県歯科医師会館で下記の通り開催しましたので、ご報告いたします。

テーマ：患者中心の歯周治療

—高齢者と有病者に優しい治療を実践するために—

主催：特定非営利活動法人 日本歯周病学会

共催：一般社団法人 熊本県歯科医師会

大会長：浦田 健二（一般社団法人 熊本県歯科医師会 会長）

実行委員長：東 克章（日本歯周病学会 臨床研修委員長）

運営事務局：第7回九州地区日本歯周病学会臨床研修会実行委員会

日時：平成28年1月31日（日）9：00～16：30

会場：熊本県歯科医師会館

プログラム：

- 教育講演① 「糖尿病と歯周病—UP—DATE」西村 英紀：九州大学大学院歯周病学教授
- 教育講演② 「視点を変えれば見方が変わる！—顎口腔領域の異常の捉え方について—」中山 秀樹：熊本大学歯科口腔外科教授
- サプライズ講演（ランチョンセミナー） 「健康寿命」延伸に寄与する **Periodontal Phototherapy**」和泉 雄一：東京医科歯科大学歯周病学教授
- 教育講演③ 「予知性の高い歯周治療—原点はイエテボリ大学歯周病科—」岡本 浩：TOKYO歯周治療センター院長、日本歯周病学会指導医
- 歯科衛生士教育講演 「インフェクションコントロールの基本：生物学に則った歯周治療—歯周病を治せる、予防できる歯科衛生士を目指して—」竹内 泰子：竹内歯科クリニック院長、日本歯周病学会指導医
- テーブルクリニック 「メンブレンを用いたGTR法の実習とエムドゲインについて」濱地 貴文：九州大学大学院歯周病科、日本歯周病学会臨床研修会委員

開催日のちょうど一週間前には数十年ぶりの大雪に見舞われ、大会日の天候が心配されましたが、晴天に恵まれ開催することができました。当日は、401名の大勢の参加者を集め、大ホールに収容できず、立ち見となり他階のサテライトホールを使用するほど熱気に包まれた研修会となりました。

本研修会は、熊本県歯科医師会会長浦田健二先生に大会長を務めていただき、又、準備

委員会として同歯科医師会副会長小島博文先生、常務理事の牛島隆先生はじめ多数の関係者が手弁当で協力してくださいました。

研修会のテーマは「患者中心の歯周治療—高齢者と有病者に優しい治療を実践するために—」としました。これは私共の行う歯周治療が、エビデンスに則ったものであり、長期にわたって歯周治療を経験し、治療の技術の習得に努めることは当然であります。それと共に現在では加齢の変化や有病者を考慮した治療に患者のニーズが変化しているのではないかと考えるようになったからです。

はじめに浦田大会長、ならびに日本歯周病学会理事長の和泉雄一先生に挨拶を頂いたのち、教育講演①として西村英紀先生に糖尿病と歯周病について最新の知見を交えて歯科医師のみならず歯科衛生士にも大変わかりやすく話していただきました。患者に正しい情報提供やモチベーションを行う上でこれらのお話は非常に有効だと感じました。

教育講演②は中山秀樹先生に口腔領域に認められる様々な病変に対して考えられる疾患について話を頂きました。歯周病だけではなく関連した領域の病気に対しての知識や診断を学び、大変有意義でした。

歯周疾患治療普及事業としてのテーブルクリニックは、九大の濱地貴文先生にお願いしました。多くの希望者がいましたが、残念ながら器具の制約から 15 名に限定されました。濱地先生は自ら前もって実習器具を使ってスライドを作成しておられ、講義とデモ、実習の構成で行われました。短時間ながら充実した実習となりました。

ランチョンセミナーは和泉雄一理事長にサプライズ講演と銘打って歯周治療の最新の話について話していただきました。こちらの会場も 50 名の席が満席となり盛況でした。

午後は歯周治療の臨床ということで岡本浩先生と竹内泰子先生にスカンジナビアの歯周治療のエッセンスをお話しいただきました。岡本浩先生には歯周病の検査診断、治療計画、治療について 1 歯毎診断を元に話を展開され、歯科医師と歯科衛生士の役割が明確に理解できました。

竹内先生は、バイオフィルムをいかにマネージメントしていくか、プロービングの重要性を交えながら、歯科衛生士にメッセージやエールを与え続けられました。

今回の研修会では、最初から満席で途中退席もなく、受講者の満足度の高いものとなりました。このことは演者の講演の素晴らしさと共に浦田熊本県歯科医師会会長をはじめ役員と準備委員会のスタッフのチームワーク、それからこの研修会を盛会にしようという強い気持ちの賜物だと感じました。この盛り上がりは他地区の研修会の手本にもなりそうなものでした。

以上、熊本における第 7 回九州地区臨床研修会のご報告とさせていただきます。